

2020年5月13日 第323号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会 新宿駅西口でスタンディング宣伝

検察庁法改正案は、三権分立脅かす改悪

今こそ、憲法を生かしたコロナ対策を

総がかり行動実行委員会は、5月12日夕、新宿駅西口でスタンディング宣伝を行い30人が参加し、改憲発議に反対する署名は26人から寄せられました。検察庁法改正案への抗議のツイッターに寄せられた市民の意思を、安倍首相は無視し、法案を強行しようとしています。火事場泥棒的に法案を通すことは許されません。全国各地で、さらに声をあげていきましょう。

憲法共同センターからは、全労連の長尾ゆり副議長がマイクを握り訴え、「ローマ教皇は『今は武器をつくり売買すべき時ではない。人々を支え、命を救うために巨額を費やす時』と呼びかけている。ストレス戦闘機やオスプレイにお金を使うのではなく、いのちやくらしを守ることに使うべき。自粛を言うなら、憲法29条でうたわれている財産の補償が必要」と強調。検察庁法改正案について「安倍首相にとって都合のいい人を据えるためのもの。モリカケ、桜を見る会、カジノ疑惑などなかったことにされかねない。三権分立を脅かす改悪を許さない。憲法を生かしたコロナ対策を」と呼びかけました。

緊急事態宣言下、人通りはいつもよりずっと少ないものの、多くの人が足を止めて、聞いてくれました。



「私の一言」届いています! その6

憲法共同センター「憲法リーフ」の署名ハガキが返信されて来ています。そこにある「私の一言」欄に寄せられた言葉を紹介します。

軍備で国民のいのちは守れません。軍事費を減らして、医療、福祉への予算を増やしてください。コロナから命を守るために、社会的弱者を支援してください。自殺者を出さない支援を(京都市から)。

私は戦争体験の語り部として活動しています。今はコロナで休止ですが、電話や手紙でできるだけ多くの人に呼びかけています。今日も頭上は自衛隊のヘリコプターが飛んでいました。騒音被害も大きいし、オスプレイ配備についてもあやしくなってきました。少しの動きにも気を配って、平和を守りぬいていきたいです(千葉県木更津市から)。

*5月の「19日行動」(国会前)は中止します。